

放送事業者による対応(株式会社エフエム・ノースウェーブ)

発災直後の状況

本社設備の状況

- ・本社演奏所設備は損壊等の被害なし。
- ・地震直後からの停電発生により、予備電源(非常用発電機)から放送継続。
- ・予備電源の燃料が限られているため、非常用発電機燃料と電源車を早急に手配した。

送信所設備の状況

- ・各送信所は監視端末で停電以外に異常が無く、同時に各送信所からの送り返し音声にて正常に放送が継続している事を確認。
- ・各送信所は予備電源により放送継続。

社員の安否状況

- ・在宅していた社員が利用可能な交通手段(車、自転車、徒歩)で各自出社。
- ・幸い社員、スタッフ、家族に怪我などが無かった。

放送事業者による対応(株式会社エフエム・ノースウェーブ)

停電時の放送継続の取組

送信設備・番組送出設備

・停電以降は非常用電源(発電機、電源車)からの電源供給となったが、この電源系統は長時間の停電を想定していないため最低限の設備(マスター設備、生放送スタジオ)のみの使用となった。

停電が長時間となることで、他部署から他の機器を使用したいとの要望が増え、余裕のある電源から機器への電源接続を行った。(停電時に使用可能な機器を増やす改修を予定。)

・本社の非常用発電機の燃料タンク容量が少ないため、手配していた電源車が到着次第、電源車からの電源供給に切り替える。(以降復電まで電源車を使用)

また非常用発電機燃料も満タンとして電源車に不具合が発生した場合に備える。

・発災翌日早朝、本社～函館間で放送用音声送りに使用している回線事業者回線が本線予備ともに不通となったため、復旧までの間の約80分無音状態となる。

放送事業者による対応(株式会社エフエム・ノースウェーブ)

燃料調達・確保に関する取組

燃料供給事業者の対応

取引先の燃料供給事業者は、電源喪失により機能していなかったが、部を超えた協力もあり、複数の燃料供給事業者から非常用発電機燃料の供給を受けることができた。

また電源車については、指定業者と早急に連絡がついたため電源供給の確保ができた。(下写真)



その他

今回燃料供給に協力いただいた事業者とは、今後の協力を依頼した。
ただし車の移動が困難な場合にどうすればよいかなど、課題を残している。